

11月29日(日)に防災委員と一般参加の方々とともに防災についての学習体験をしてきました。「あっ、地震だ!」を体験して万一の災害に備えよう!

防災に対する知識と技術が様々な体験を通して学習できる施設です。迫力ある映像や震動で地震発生の様子や火災を再現し、街を破壊する揺れの恐さをリアルに体感できます。また、地震発生直後の室内や街の中で、災害時に必要な消火、避難、救助の一連の作業を分かりやすく体験学習する事もできます。そして何より自身を守り、人を助ける方法が学べます。

①大画面の映像と座席の振動装置で大地震発生をリアルに体験
 ②家の中での2次災害を防ぐための訓練
 ③実際に煙が充満した廊下を脱出体験
 ④台所から出火、バーチャルの消火活動体験
 ⑤いざという時のための正しい通報の仕方
 ⑥2階建家屋の火災をポンプを使って放水体験
 ⑦家具の下敷きになった人を救出します
 ⑧家庭にある身近なもので止血・骨折の応急手当を学びます
 ⑨リアルに再現された地震後の街並みでさまざまな危険なモノを探します
 ⑩体験学習の修了証で復習採点等を行います
 ⑪震度7を体験できます
 ⑫映像等で防災の大切さを学習します

START 1 バーチャル地震体験 (仮想体験) 2 火災発生防止 3 煙中避難 4 初期消火 5 119通報 6 屋外消火活動 7 屋内救出 8 応急救護 9 屋外危険箇所 10 メディアデッキ 11 震度7体験 12 防災学習

バーチャル地震、火災発生防止、煙中、初期消火、119通報などの体験をしてきました。いざ地震が来た時、また火事がおきた時に何をどうすればいいか、情報としては知ってはいても実際には上手く動けないものですね。体験する事で実感しました。これから先、幾度か大きな地震に遭遇するでしょうが、ほんの少し体験しておくだけでも十分に役立つと思います。

体験コースでバーチャル地震体験を体験しました。被災時の行動や応急救護、初期消火など日ごろ耳にしてはいても実際にはなかなか実感の湧かないことが体験できました。ただし、緊張感や恐怖感を感じるということではなく、ある意味アトラクション的な感覚もあるので、子供でも充分に楽しみながら被災時に必要なことが学べるという印象です。阪神淡路大震災や今後あるであろう東南海地震の揺れを実際に体験するコーナーもあり、家族や友達同士で一回体験してみると、いい体験になりますし、災害への知識も増すので一石二鳥だと思います。

ここは市民の防災に対する知識や意識をいろいろな体験を通してアップできる学習施設です。消火実地訓練や地震体感や地震で崩れ落ちた街中の避難体験などいろいろと貴重な体験ができます。この震災の街のジオラマがリアルで生々しかったですね。とても勉強になりました。

.....好評につき、次回開催も予定しておりますので、ご参加よろしくお願いたします。.....

Point 災害時には通常の携帯電話が繋がりません。
「災害伝言ダイヤル」を覚えておきましょう!

録音 171にダイヤル➡ ① ➡ 市外局番から自宅の電話番号 ➡ 伝言を録音する
 を押す を入力します (1回30秒)

※被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号をダイヤルします。

再生 171にダイヤル➡ ② ➡ 市外局番から連絡先の電話番号 ➡ 伝言が再生される
 を押す を入力します (2日間保存)

●体験利用できます: 毎月1日(元日は除く)、防災週間(8月30日~9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日~21日)

※この阿倍野防災センター体験学習についての詳しい資料は、防災委員又は管理員までお問い合わせください。